

特定非営利活動法人「市村自然塾 九州」
令和5年度 理事会・総会

1. 日 時 令和6年3月1日（金曜日）
理事会 午前10時
令和6年3月1日（金曜日）
総会 午前11時
2. 場 所 「市村自然塾 九州」塾舎
佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
3. 審議事項
- (1) 第1号議案 令和5年度 事業報告および決算報告の件
① 令和5年度 事業報告書
② 令和5年度 活動計算書
- (2) 第2号議案 令和6年度 事業計画および活動予算の件
① 令和6年度 事業計画書（案）
② 令和6年度 活動予算書（案）



市村自然塾九州

令和5年度 事業報告書

開塾までの経緯

令和5年度は子供たちの健全育成活動(以下「自然塾活動」)を行うため、入塾式を3月5日午前男子、午後から女子の2回に分けて開式し、3月19日(男子)・26日(女子)からの第1ステージに向けての準備から開始しました。

1. 自然塾活動の拠点となる「塾舎」については、当法人を設立した平成14年(2002年)の9月に完成し、支援先であるコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社様から無償でお借りしており、平成22年(2010年)平成29年(2017年)・令和3年(2020年)に改修工事を実施していただきました。
また、塾舎のある用地については平成14年(2002年)9月から鳥栖市様より無償でお借りしております。
2. 自然塾活動の基盤となる「農地」については、地域の方から借受けした農地3ヶ所(約3,200㎡)を水田と畑として活用し、継続して米や野菜の農作物を作っています。
3. 自然塾活動や運営のための職員は、常勤4名(うち企業からの派遣1名)、非常勤3名を確保し、カリキュラムの内容や育成する野菜の検討、農地の整備・耕作等を行いました。
4. 令和5年度の塾生募集については、令和4年9月より鳥栖市報等で取り上げていただくと共に、福岡、佐賀県内の教育委員会を通じ募集を行いました。(1チーム6名 3チームの18名)
但し、コロナによりステージ回数が減少し体験学習に変更した参加者については、やり残しが多いことから、本人の希望があれば再入塾を認めることとしました。
・入塾生 男子18名(小学生15名、中学生3名)(福岡県12名、佐賀県6名) 再入塾者8名
女子18名(小学生14名、中学生4名)(福岡県5名、佐賀県13名) 再入塾者6名
5. 運営資金については、法人・個人の正会員・賛助会員のご協力による会費5,312千円および株式会社リコー様などからの寄付金23,924千円に、雑収入234千円を合わせた合計29,470千円を運営資金といたしました。

(1) 会費	①正会員(法人・個人)	5,148,000 円
	②賛助会員(法人・個人)	164,000 円
		計 5,312,000 円
(2) 寄付金	①株式会社リコー 様	10,000,000 円
	②コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 様	4,500,000 円
	③三愛オブリ株式会社 様	3,000,000 円
	④ふるさと納税	2,842,804 円
	⑤公益財団法人 市村清新技術財団 様	2,500,000 円
	⑥公益財団法人 金子財団 様	300,000 円
	⑦岩井機械工業株式会社 様	300,000 円
	⑧その他	481,000 円
		計 23,923,804 円
(3) 雑収入		計 234,044 円

自然塾活動の概況

1. 全体概要

コロナ感染予防をさらに強化し、入塾式は男女を午前、午後の2回に分けて行い、さらに4月にコロナ感染症に対応した塾独自の「ガイドライン」を作成しました。また、新型の体温測定機を導入するなどの対応を強化した結果、塾内で起因したコロナ感染者の発生はありませんでした。

また、政府のコロナ第5類移行に伴い宿泊ステージを男女各6回予定し、活動のより一層の充実を図る計画としました。

しかし、7月に九州北部地方で発生した自然災害(豪雨)は、塾のある鳥栖河内地区にも甚大な被害を与え、通塾路が土砂崩落でバス運行ができない状況となりました。結果、男子が2ステージ、女子が3ステージを中止としました。

ただ、昨年から復活させた「泥んこ運動会」「キャンドルサービス」「大山祇神社ライトアップ時の合唱」などは継続させ、今年度より「九千部山登山」を新たに復活させました。また、「宿泊ステージ」の回数を昨年より増やし、本来の活動内容に近いプログラムが実施できたことは、塾の運営面では次年度に向けての明るい材料となりました。

2. 農業体験活動

農業体験活動では、塾生がチームメンバーと協力しながら約20種類の農作物を自らの手で育てる計画で進めていました。ただ、後作の植え付け時期に自然災害(豪雨)に見舞われステージが中止となったため、十分な活動とは言えない状況でした。

しかし、「困難なことに立ち向かってやり通すこと」、「生き物への興味・関心を持つこと」を体得し、季節の変化に応じた様々な農作業を体験してもらいました。

3. 自然体験活動

自然体験活動では、「ヤマメの放流」、田植え前の「泥んこ運動会」、大木川での「リポートレッキング」などを実施しました。また、今年度は新たに「九千部山登山」を復活させたことにより、自然の仕組み等を理解させ、花や風景など美しいものを見て感動できる感性を育てました。

4. 共同生活

共同生活活動では昨年度より1泊2日の宿泊ステージを増やし、男女とも5回実施しました。

身の周りの整理整頓や共同場所の清掃、農作業道具の準備と片付け、羽釜による直火炊きの炊飯といった日常生活で経験できないことを数多く体験してもらいました。また、河内地区の自然に触れる「地域探索」萬歳寺での「坐禅会」も実施し、地域行事の「大山祇神社ライトアップ」時の合唱では、塾生の歌声を地域の人たちに聞いてもらいました。

塾生には、割り当てられた仕事を何度も失敗を繰り返しながらできるようになるまでやり続け、仲間と協力して成し遂げて得られる達成感を体験してもらい、良い機会になったと思います。

5. 安全対策

安全対策については、自然塾がある河内地区は市内の中心地から10kmほど離れており、救急車の到着には最短でも15分ほどかかることから、活動がスタートする前の2月にスタッフ全員が救急救命講習を受講し、AEDを使用した救急救命が施せるスキルを習得しました。

また、鳥栖市にある医療法人清明会「やよいがおか鹿毛病院」から看護師を派遣してもらい、ステージ中の塾生の体調管理や応急処置を行い、緊急時の対応も病院と連携して行いました。

6. 保護者との連携

保護者との連携については、当法人のホームページを利用して、ステージ毎の計画と活動実績を毎回掲載するとともに、塾生手帳を用いた保護者とのコミュニケーションを継続して実施しました。

令和5年度の事業活動は以下に記します。

【事業の実施概況】

実施計画	日程	実施内容																																										
塾生の構成 (参加者の内訳)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(1)学年構成</th> <th colspan="3">(2)地域構成</th> </tr> <tr> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> <th>学 年</th> <th>男子</th> <th>女子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>福岡県</td> <td>12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小学6年</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>佐賀県</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>小学5年</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>計</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>小学4年</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	(1)学年構成			(2)地域構成			学 年	男子	女子	学 年	男子	女子	中学生	3	4	福岡県	12	5	小学6年	9	5	佐賀県	6	13	小学5年	4	5	計	18	18	小学4年	2	4				計	18	18			
(1)学年構成			(2)地域構成																																									
学 年	男子	女子	学 年	男子	女子																																							
中学生	3	4	福岡県	12	5																																							
小学6年	9	5	佐賀県	6	13																																							
小学5年	4	5	計	18	18																																							
小学4年	2	4																																										
計	18	18																																										
(1)農業体験活動	男子 3月19日～ 10月15日 女子 3月26日～ 10月22日	主な農業体験活動 ① 米づくり ・種籾の塩水選 ・温湯消毒 ・播種 ・代かき ・田植え ・稲刈り ・結束 ・掛け干し ・脱穀 ・唐箕選 ・わら縛り ② チーム農園での野菜づくり (農作業の基礎を学ぶ・チームワークを活かす) ・前作、後作の作付け計画 ・畑の土づくり ・畝上げ ・播種 ・定植 ・芽欠き、間引き ・土寄せ ・追肥 ・除草、水やり ・支柱立て、誘引 ・鳥獣対策 ・収穫 (さつま芋、トマト、きゅうり、なす、かぼちゃ、ジャガイモ、里芋、おくら等) 各チーム 約20種類を栽培																																										
(2)自然体験活動	男子 3月19日～ 10月15日 女子 3月26日～ 10月22日	主な活動内容 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>椎茸の菌打ち、ヤマメの放流(女子)</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>地域探索、ウルチ米田植え</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>モチ米田植え、泥んこ運動会、坐禅体験</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>自然災害(水害)のため、活動休止(7/9～8/6)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>リバートレッキング(男子)、九千部山登山(男子) 親子チーム農園(男子)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>リバートレッキング(女子)、九千部山登山(女子)、稲刈り 日の出拝観、親子チーム農園(女子)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>脱穀、餅つき、紅葉ライトアップ点灯式合唱</td> </tr> </tbody> </table>	4月	椎茸の菌打ち、ヤマメの放流(女子)	5月	地域探索、ウルチ米田植え	6月	モチ米田植え、泥んこ運動会、坐禅体験	7月	自然災害(水害)のため、活動休止(7/9～8/6)	8月	リバートレッキング(男子)、九千部山登山(男子) 親子チーム農園(男子)	9月	リバートレッキング(女子)、九千部山登山(女子)、稲刈り 日の出拝観、親子チーム農園(女子)	10月	脱穀、餅つき、紅葉ライトアップ点灯式合唱																												
4月	椎茸の菌打ち、ヤマメの放流(女子)																																											
5月	地域探索、ウルチ米田植え																																											
6月	モチ米田植え、泥んこ運動会、坐禅体験																																											
7月	自然災害(水害)のため、活動休止(7/9～8/6)																																											
8月	リバートレッキング(男子)、九千部山登山(男子) 親子チーム農園(男子)																																											
9月	リバートレッキング(女子)、九千部山登山(女子)、稲刈り 日の出拝観、親子チーム農園(女子)																																											
10月	脱穀、餅つき、紅葉ライトアップ点灯式合唱																																											

<p>(3) 宿泊を伴う共同生活 (1泊2日)</p>	<p>男子 4月29～30日 6月3～4日 9月2～3日 9月16～17日 10月14～15日 女子 5月13～14日 6月10～11日 8月26～27日 9月23～24日 10月21～22日</p>	<p>「自主・自立・自律」を身につけさせる</p> <p>① 共同生活の根幹となる基本作業をできるまで何度も実行 ・挨拶、返事 ・整理整頓 ・あと片付け ・食事のとり方 ・箸の使い方 ・姿勢 ・床の拭き掃除 ・トイレ掃除 ・入浴の仕方 ・布団の準備、片付け 等</p> <p>② 昔ながらの炊飯体験 ・米とぎ ・釜飯炊き(日曜の朝) ・羽釜洗い 等</p> <p>③ 助け合うこと、協力することを体験 ・チーム活動 ・歌の合唱 ・キャンドルサービス 等</p>																																												
<p>(4) その他の事業 ① 同窓会卒塾生のボランティア参加 ② 主要支援企業による活動援助</p>	<p>男子 3月19日～ 10月15日 女子 3月26日～ 10月22日</p>	<p>① 卒塾生のボランティア参加 ・第1ステージ(3月19日)から、7～14期生 67名が活動に参加 (男子36名、女子31名)</p> <p>② 支援企業による活動援助 ・支援企業のリコージャパン株式会社の社員17名およびコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の社員8名、佐賀ガス株式会社の社員3名が泥んこ運動会・田植え・稲刈り・脱穀・餅つきに参加。</p>																																												
<p>(5) 会員の状況</p>	<p>令和5年 12月末現在</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">法人</th> <th colspan="2">前年比</th> <th colspan="2">個人</th> <th colspan="2">前年比</th> </tr> <tr> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>社数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> <th>人数</th> <th>口数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>正会員</td> <td>47</td> <td>169</td> <td>-</td> <td>▲2</td> <td>19</td> <td>26</td> <td>▲2</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>39</td> <td>86</td> <td>+8</td> <td>▲5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>51</td> <td>176</td> <td>-</td> <td>▲2</td> <td>58</td> <td>112</td> <td>+6</td> <td>▲7</td> </tr> </tbody> </table>		法人		前年比		個人		前年比		社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数	正会員	47	169	-	▲2	19	26	▲2	▲2	賛助会員	4	7	-	-	39	86	+8	▲5	計	51	176	-	▲2	58	112	+6	▲7
	法人			前年比		個人		前年比																																						
	社数	口数	社数	口数	人数	口数	人数	口数																																						
正会員	47	169	-	▲2	19	26	▲2	▲2																																						
賛助会員	4	7	-	-	39	86	+8	▲5																																						
計	51	176	-	▲2	58	112	+6	▲7																																						

〈第1号議案〉 令和5年度 事業報告および決算報告の件 ②

令和5年度 活動計算書
令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員		
法人会員	5,070,000	
個人会員	78,000	
賛助会員		
法人会員	35,000	
個人会員	129,000	5,312,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		23,923,804
3. その他収益		
受取利息	228	
雑収益	233,816	234,044
経常収益計		29,469,848
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,771,710	
賃金	981,415	
法定福利費	1,147,257	
人件費計	12,900,382	
(2) その他経費		
教材費	267,712	
燃料費	103,898	
図書資料費	37,060	
保健衛生費	106,015	
食材費	454,302	
旅費交通費	156,282	
通信運搬費	639,044	
消耗品費	781,423	
水道光熱費	1,182,903	
賃借料	1,403,290	
印刷製本費	748,549	
修繕費	71,410	
保険料	14,763	
教育研修費	18,800	
その他経費計	5,985,451	
事業費計		18,885,833
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,500,536	
法定福利費	597,636	
人件費計	4,098,172	
(2) その他経費		
旅費交通費	60,669	
福利厚生費	1,607,052	
通信運搬費	62,171	
消耗品費	67,058	
水道光熱費	295,728	
賃借料	400,554	
渉外費	53,083	
支払手数料	144,842	
租税公課	932	
保守費	1,665,317	
雑費	237,591	
その他経費計	4,594,997	
管理費計		8,693,169
経常費用計		27,579,002
当期正味財産増減額		1,890,846
前期繰越正味財産額		19,935,461
次期繰越正味財産額		21,826,307

貸 借 対 照 表

令和5年12月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	102, 171		
普通預金	23, 740, 912		
未収金	82, 816		
仮払金	25, 500		
流動資産合計		23, 951, 399	
2. 固定資産			
器具備品	1		
有形固定資産計	1		
固定資産合計		1	
資産合計			23, 951, 400
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1, 702, 336		
預り金	422, 757		
流動負債合計		2, 125, 093	
負債合計			2, 125, 093
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		19, 935, 461	
当期正味財産増減額		1, 890, 846	
正味財産合計			21, 826, 307
負債及び正味財産合計			23, 951, 400

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（平成22年7月20日、平成23年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会）を採用している。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形・無形固定資産 法人税法に定める耐用年数をもとに定額法によっている。

（2）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 固定資産の増減内訳

（単位：円）

科 目	期首取得価額	取 得	減 少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
器具備品	1					1
合 計	1					1

財 産 目 録

令和5年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			
流動資産			
現金	102,171		
普通預金			
西日本シティ銀行 1107615	13,342,866		
西日本シティ銀行 3006184	3,824		
福岡銀行	7,929,575		
佐賀銀行	2,464,647		
未収金	82,816		
仮払金	25,500		
流動資産合計		23,951,399	
固定資産			
器具備品	1		
固定資産合計		1	
資産の部合計			23,951,400
負債の部			
流動負債			
未払金	1,702,336		
預り金			
源泉税	84,131		
社会保険	320,326		
住民税	18,300		
流動負債合計		2,125,093	
負債の部合計			2,125,093
正味財産			21,826,307

監 査 報 告

令和5年度の決算監査を実施しましたので、以下の通り報告致します。

監査の結果、事業報告および会計に関する処理は適正であることを認めます。

令和6年2月6日

監 事 野 口 貴 司 

令和6年度 事業計画書(案)

1. 事業計画策定にあたって

令和6年度の「市村自然塾 九州」の活動は感染症の防止を第一としたうえで、従来の活動に近いものに戻し、子供たちの健全育成をより高める内容を目指します。

また、本来の基本理念および指導方針に基づいた内容を具体的に実行していく計画です。

「基本理念」

『生きる力を大地から学ぶ』

- 自然の助けを借りながら
- 共に考え、知恵を働かせ
- 自らの汗を流し
- 自らが成長する

「指導方針」

- ① 生活面の心得や作業方法などの基本的事項ならび安全作業や危険行為などの重要事項は指導するが、基本は体験を通して自らが気づき、学びにつなげる。
- ② 「指示しすぎず」「命令しすぎず」「教えすぎず」「世話をやきすぎず」を基本姿勢として、自主性を引き出し、自らの行動につなげる。

2. 事業計画策定方針

- ・日帰り活動と宿泊活動を基本とし、全15ステージ中、半数以上の8ステージを1泊2日の宿泊とします。
- ・昨年に復活させた「九千部山登山」「早朝日の出拝観」「姿勢の話」等の自然体験活動は継続して実施。また、新たに「森林保全活動」「地域清掃」等のボランティア活動を復活させ、塾生に奉仕活動の大切さを学ばせます。
- ・昨年は限られた回数のみしかできなかった「釜めし炊き」を毎ステージ実施して、先人の知恵を学んでもらいます。
- ・感染症(コロナ、インフルエンザ等)対策を万全にし、全ステージで感染者ゼロの達成を目標にすると同時に昨年度策定の「感染対策マニュアル」に沿った対応の強化、内容の見直しを行います。

【見直し内容】

- 陽性者および濃厚接触者の自宅待機期間を明確にする
- ステージ休止、再開の基準を見直す
- 保護者による送迎の検討をする 等
- ・自然塾の安定的な継続を図るため、
 - ①会員の拡充
 - ・各企業、団体での講演会、集会等で呼びかけを強化
 - ②ふるさと納税の拡大
 - ・卒塾生保護会、各企業、団体での講演会、集会等で呼びかけを強化
 - ③経費の圧縮 等を行う。

3. ステージ運営に関する活動

(1) 事業内容

- ① 農業体験活動 子供たち自らの手で行う農作物の栽培/チーム農園・共同農園・水田
- ② 自然体験活動 リバートレッキング、地域探索、坐禅会、日の出拝観、九千部山登山 等
- ③ 共同生活 挨拶、清掃、整理整頓、食事マナー、釜めし炊き、歌の合唱、姿勢の話 等
- ④ ボランティア活動 ヤマメの放流、塾舎周辺の清掃活動、森林保全活動への参加
- ⑤ 宿泊活動 1泊2日の宿泊ステージを男女共 8 回実施 (昨年度 5 回実施)

(2) 対象者

一般公募した小学 4 年生から中学 2 年生までの児童生徒 男子 18 名・女子 18 名 計 36 名

(1) 学年構成

学 年	男子	女子
中学生	1	5
小学 6 年	7	4
小学 5 年	4	6
小学 4 年	6	3
計	18	18

(2) 地域構成

学 年	男子	女子
福岡県	7	5
佐賀県	11	13
計	18	18

(3) 活動の期間

- ① 入塾式 3月 3日(日) 男子、女子合同
- ② 男子活動期間 3月 17日(日) ～ 10月 13日(日)
- ③ 女子活動期間 3月 24日(日) ～ 10月 20日(日)
- ④ 卒塾式 10月 27日(日) 男子、女子合同
- ⑤ 大山祇神社ライトアップ時の合唱 11月 9日(土) 男子、女子合同

(4) 従事者の状況

常勤 6名 企業から出向者(1名) 契約社員(4名) アルバイト(1名)
 非常勤 2名 調理スタッフ(3名) 看護師(1名)

(5) その他の活動

- ① 鳥栖市「青少年自然体験事業」の開催(第 19 回)
 - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
 - ・リバートレッキング等の自然体験活動や共同生活を通じて、子供たちの自発性、協調性を高めることを目的とした鳥栖市教育委員会(生涯学習課)の活動を支援します。
 - ・鳥栖市内の小中学生を対象に1泊2日の自然体験活動
 - ・開催日:夏休み期間中の 7 月 25～26 日を予定
- ② 鳥栖市「English Camp」の開催(第 1 回)
 - ・鳥栖市教育委員会が主催する事業の運営協力を行います。
 - ・ハイキングや野外炊飯を通して海外留学生と市内中学生が交流し、語学向上とグローバルな人材育成を目的とした鳥栖市教育委員会(学校教育課)の活動を支援します。
 - ・鳥栖市内の中学生を対象に日帰りで実施
 - ・開催日:11 月の中旬頃(土曜もしくは日曜)を予定
- ③ 「やまもの会」総会の開催(第 18 回)
 - ・卒塾生の親睦を深め、交流を通して互いに学びあうことを目的とします。
 - ・開催日:男子 8 月 10 日・女子 8 月 11 日を予定

4. その他

(1) 安定的な収入の確保

安定的かつ効果的な事業運営が続けられるよう会員拡大、退会者抑止および「ふるさと納税」の継続、拡大を行います。また、企業や各団体が集まる場を利用して広く自然塾活動の内容や意義を周知します。

具体的には「ふるさと納税」「会員募集」「寄付金」等の募集パンフレットを卒塾生、保護者、塾関係者会員企業等に届け、新規寄付先の拡大、増額を目指します。

また、企業、団体等の会合、講演会に出向き、塾の必要性を知ってもらい会員の拡大を図ります。

(2) 応募者の確保

本年度の塾生募集は、昨年9月から各教育委員会の後援を受け福岡県、佐賀県内の小中学校を中心に募集を行いました。(福岡県 731校・佐賀県 202校)

結果、男女共定員には達しましたが、非常に少ない応募状況となりました。長引いたコロナ禍で子供たちが人との接触を回避することが求められ、学校や家庭でも積極的な参加を躊躇したのではないかと推測しております。

そこで、今後の塾生募集については

- ・募集先を学校以外の公共施設(駅・図書館他)や支援企業、会員等にも広げる
- ・HPの有効的な利用を検討する(SNSとの連動等)
- ・地域のマスメディア(TV・ラジオ等)を利用した広報活動を行う等の対応策を検討し、応募者の確保を目指します。

【参考】応募者数の推移

令和1年	76名(男子36名 女子40名)	対前年比
令和2年	83名(男子38名 女子45名)	+7名
令和3年	59名(男子30名 女子29名)	▲24名
令和4年	38名(男子19名 女子19名)	▲21名
令和5年	49名(男子30名 女子19名)	+11名
令和6年	40名(男子22名 女子18名)	▲9名

(3) 情報発信の拡充

現在、塾の情報発信は、ホームページ上で活動実績やイベントの呼びかけ等を行っています。しかし、現在ではスマホ等の普及が顕著となり、手軽かつ迅速に情報を受信できる大きな手段となっています。その結果、現ホームページでの情報発信に対する閲覧回数の低下が心配されており、新しい試みとしてSNS「インスタグラム」導入の検討を行います。

- 【検討内容】
- ・発信までの所要時間の把握
 - ・発信内容の精査(ホームページとのダブリ解消)
 - ・運用ルールの精査(リスク、ルール、マナー、個人情報の扱い)

(4) ボランティアの確保

本年度も塾生の安全確保の面からボランティアの支援が必要なものとなっています。

そこで昨年に続き、主に卒塾生主体(やまももの会)にボランティアを募集します。

ただし、塾運営の最低限の知識を持ってもらうため、塾活動開始前に説明会を兼ねた勉強会を開催し、安全対策、塾生に対する姿勢、農業知識等を周知させる計画です。

また、人数を多く必要とする活動(田植え、稲刈り等)時には理事企業の社員様を中心としたボランティアをお願いし、塾生の安全確保を図りたいと考えています。

〈第2号議案〉 令和6年度 事業計画および活動予算の件 ②

令和6年度 活動予算書(案)
令和6年1月1日から令和6年12月31日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	収益・費用の主な内訳
I 経常収益		
1. 受取会費	5,282	〈正会員〉 法人 30,000円×168口 個人 3,000円×26口 〈賛助会員〉 法人 5,000円×7口 個人 1,500円×86口
2. 受取寄付金	22,956	株式会社リコー 10,000 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 4,500 三愛オプリー株式会社 3,000 公益財団法人市村清新技術財団 2,500 ふるさと納税 2,200
3. その他収益	32	受取利息 1 中山間地農業補助 他 31
経常収益計	28,270	
II 経常費用		
1. 事業費	24,224	
給料手当		職員給与 14,238
賃金		調理師、看護師の人材派遣費用 1,800
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 1,692
教材費		種・苗・堆肥 等の活動教材 300
燃料費		塾保有車ガソリン代・農機具燃料費 113
図書資料費		新聞購読料 等 38
保健衛生費		日用品、医薬品 等 150
食材費		活動時における食事の食材費用 600
旅費交通費		塾生送迎交通費、業務上の交通費 等 238
通信運搬費		電話料金、郵送費、宅配費 等 635
消耗品費		事務用消耗品、厨房関係消耗品 等 566
水道光熱費		電気、ガス料金 1,203
賃借料		車両、寝具リース、農地、機械借用料 等 1,660
印刷製本費		コピー代、塾生手帳、塾生募集パンフレット 等 850
修繕費		活動用機器の修繕費 120
保険料		看護師、ボランティア参加時の保険 等 17
教育研修費		外部研修参加費 4
2. 管理費	8,186	
給料手当		職員給与 2,594
法定福利費		社会保険料、労働保険料 等 227
旅費交通費		出張旅費、交通費 110
福利厚生費		単身職員借上寮、定期健康診断料 等 2,140
通信運搬費		電話、携帯電話、切手 等 60
消耗品費		事務用消耗品 等 75
水道光熱費		電気、ガス料金 302
賃借料		パソコンリース、車両リース 等 459
会議費		会議時の飲食費用 40
渉外費		地域協力のための会費、慶弔費用 等 60
修繕費		設備機器の修繕費用 20
支払手数料		振込手数料・残高証明 等 134
保守費		警備保守、防火管理、浄化槽管理、空調管理 等 1,716
雑費		会計サポート、玉串料、広告掲載料 等 249
当期正味財産増減額	△ 4,140	
前期繰越正味財産額	21,826	
次期繰越正味財産額	17,686	

活動予算書(案)の主な増減要因

(単位：千円)

科 目	令和6年 予算(案)	令和5年 実績	差異	増減要因
I 経常収益				
1. 受取会費				
正会員				
法人会員	5,040	5,070	△ 30	
個人会員	78	78	-	
賛助会員				
法人会員	35	35	-	
個人会員	129	129	-	
2. 受取寄付金				
受取寄付金	22,956	23,924	△ 968	ふるさと納税・金子財団寄付金の減
3. その他収益				
受取利息	1	1	-	
雑収益	31	233	△ 202	
経常収益計	28,270	29,470	△ 1,200	
II 経常費用				
1. 事業費				
(1) 人件費				
給料手当	14,238	10,772	3,466	新規採用 1名の増 (R7スタッフ、1名減の対応)
賃金	1,800	981	819	宿泊ステージ増加による調理師費用の増
法定福利費	1,692	1,147	545	新規採用 1名の増 (R7スタッフ、1名減の対応)
人件費計	17,730	12,900	4,830	
(2) その他経費				
教材費	300	268	32	
燃料費	113	104	9	
図書資料費	38	37	1	
保健衛生費	150	106	44	
食材費	600	454	146	宿泊ステージ増加による食材の増
旅費交通費	238	156	82	
通信運搬費	635	639	△ 4	
消耗品費	566	781	△ 215	R6・体温測定器購入の影響
水道光熱費	1,203	1,183	20	
賃借料	1,660	1,403	257	宿泊ステージ増加による寝具リース料の増
印刷製本費	850	749	101	
修繕費	120	71	49	
保険料	17	15	2	
教育研修費	4	20	△ 16	
その他経費計	6,494	5,986	508	
事業費計	24,224	18,886	5,338	
2. 管理費				
(1) 人件費				
給料手当	2,594	3,500	△ 906	アルバイト 1名の減
法定福利費	227	598	△ 371	"
人件費計	2,821	4,098	△ 1,277	
(2) その他経費				
旅費交通費	110	61	49	
福利厚生費	2,140	1,607	533	
通信運搬費	60	62	△ 2	
消耗品費	75	67	8	
水道光熱費	302	296	6	
賃借料	459	401	58	スタッフ新規採用に伴うパソコンリース料の増
会議費	40	-	40	
渉外費	60	53	7	
修繕費	20	-	20	
支払手数料	134	145	△ 11	
租税公課	-	1	△ 1	
保守費	1,716	1,665	51	
雑費	249	237	12	
その他経費計	5,365	4,595	770	
管理費計	8,186	8,693	△ 507	
経常経費計	32,410	27,579	4,831	
当期正味財産増減額	△ 4,140	1,891	△ 6,031	
前期繰越正味財産額	21,826	19,935	1,891	
次期繰越正味財産額	17,686	21,826	△ 4,140	

【参 考】

令和6年度
理事 および 監事体制

理 事

	氏 名	備 考
代表理事	柴田 暢雄	
副代表理事	松尾 哲吾	松尾建設株式会社 代表取締役社長
副代表理事	吉村 隆男	リコージャパン株式会社 執行役員 九州地域担当 デジタルサービス営業本部 福岡支社長
理事	稲川 晶子	公益財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 事業部長
理事	呉藤 徹	株式会社佐電工 代表取締役専務
理事	阿部 哲嗣	株式会社リコー ESG戦略部兼プロフェッショナルサービス部 ESGセンター 所長
理事	大久保 宏次	佐賀ガス株式会社 代表取締役社長
理事	八田 聡子	三愛オブリ株式会社 サステナビリティ推進部長

監 事

	氏 名	備 考
監事	野口 貴司	リコージャパン株式会社 人事コーポレート本部 コーポレートセンター 九州ビジネスサポート部 部長

定款より

第4章 役員および職員
(種別及び定数)

第13条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 5人以上10人以内
- (2) 監事 1人以上2人以内

2 理事のうち1人を代表理事とし、2名以内の副代表理事を置くことができる。